

ハ〜イちくどいめん

206



トン ジャ さん
(中国)
高知大学医学部留学生

今年10月高知大学医学部に来ました。2008年に交換留学生として1年間ここに来ました。今度は国費留学生として、博士課程終了までの5年間、医学科生理学講座で研究を積みみます。

中国リャオニン(遼寧)省のシェンヤン(瀋陽)薬科大学を2009年に卒業し、漢方薬剤師の免許を取りました。来日直前まで中国の製薬会社で生薬の研究をしていたので、日本の製薬会社をたくさん知っています。

大学での専門は「匂いの研究」です。匂いを嗅いだとき、「これは母の匂いだ」と分かるのは、その匂いと、記憶している母の匂いの間に感知する仕組みがあるという、脳神経細胞のメカニズム

))) 匂いと記憶の関係)))

を研究しています。そのために、50匹以上のネズミを飼っています。元氣な子どもネズミの脳に色んな匂いを入れ、記憶が破壊されたり、残ったりする原因を調べるためのデータを集めているのです。加齢とともに悪くなる人間の匂いの記憶を、薬で回復させることができるようになるかも？

卒業後は東京大学や京都大学、ハーバード大学などで研究を続けるのが夢です。

自炊をしていますが、母の参鶏湯(高麗ニンジンと自然の餌で育てた鶏のスープ)がとっても懐かしいです。



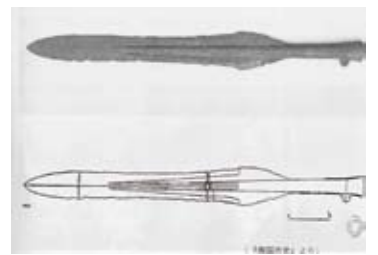
なんこく歴史散歩

第3回

弥生時代に行われた祭りの道具には、銅鐸(どたく)や銅矛、銅剣、銅戈(どうか)、銅鏡などの青銅器があります。高知県では、銅矛が最も多く54本、銅鐸は10個が見つかっています。銅鐸は主に物部川から東の地域に、銅矛は主に西の地域に分布しています。田村遺跡群では、銅鐸と銅矛の両方が見つかり、北九州の銅矛文化圏と近畿の銅鐸文化圏が混じりあう境界となっています。

元々、銅鐸は音を鳴らす物、銅矛は武器として使われていた道具でしたが、次第に実用性を失って大型化し、見たり飾ったりするだけの祭器となりました。本県で見つかっている銅矛は全て実用性を失った幅の広いものです。

昭和49年1月、十市地区の遅倉遺跡から、山芋掘りの最中に1本の銅矛が見つかりました。翌年に発掘調査が行われ、埋納坑に埋められていたことが確認されました。中広形銅矛Ⅱ型とされるもので、弥生時代中期のものです。長さ83cm、もっとも広い部分の幅は6.8cmです。この銅矛は、小さな谷川と低湿地の少し上側で発見されました。他の遺跡でも銅矛は水と関係する場所で発見されていることから、水霊信仰に関係するのではないかと考えられています。



県立歴史民俗資料館保管

「遅倉出土の銅矛」

—祭器としての青銅器—

※お問い合わせは、生涯学習課文化財係(☎880-6569)まで

「こんにちは赤ちゃん」は今月休載します。

交流人口

高知自動車道
南国I.C.
入 130,362台
出 132,493台

高知龍馬空港
出発 56,271人
到着 56,979人

《11月分》

市の統計

面積	125.35km ²	内 外国人数	215人(+ 4)
人口	48,907人(- 33)	男	103人(+ 2)
男	23,225人(- 30)	女	112人(+ 2)
女	25,682人(- 3)	登録国籍数	32カ国
世帯数	21,639戸(+ 1)	()内は前月比	《平成24年11月30日現在》
出生数	33人〔男 14人・女 19人〕	《11月分》	
有権者数	《平成24年12月3日現在》		
	39,719人〔男 18,424人・女 21,295人〕		

あ
と
が
き

あけましておめでとう
ございます。

私事ですが、高知龍馬
マラソンで初のフルマラ
ソンに挑戦中です(汗)。

今年は紙面づくりでも新
しいことに挑戦して、皆
さんに必要とされる広報
「なんこく」を目指しま
す。取材の折には、ご協
力、よろしくお願いいた
します。

(T)

「広報なんこく」は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さんの家庭にお届けしています。